SCSK
夢ある未来を、共に創る。

SCSKの『働き方改革』

～ 働きやすい、やりがいのある会社を目指して ～

2018年11月21日

SCSK株式会社

経営理念・会社概要

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

経営理念

私たちの使命

夢ある未来を、共に創る

お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、
夢ある未来を拓きます。

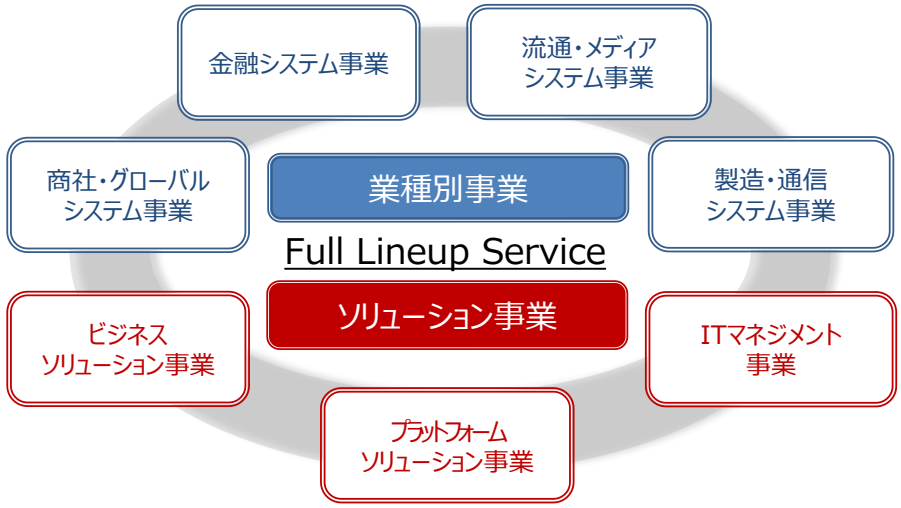
私たちの３つの約束

人を大切にします。

確かな技術に基づく、最高のサービスを提供します。

世界と未来を見つめ、成長し続けます。

お客様のニーズの先にあるもの。
私たちは、それぞれの専門知識を持ちより、
互いに連携し、
最適な解決策をご提案します。



会社名	SCSK株式会社
設立年月日	1969(昭和44)年10月25日
代表者	代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者　谷原 徹
資本金	21,152百万円
売上高	3,366億円（連結ベース 2018年3月期）
従業員数	12,054名　（連結ベース 2018年3月末）

Copyright(c) SCSK Corporation

SCSKの取り組み『働き方の改革』

仕事の質を高める『働き方の改革』

◎ 社員が心身の健康を保ち、

◎ 仕事にやりがいを持ち、

◎ 最高のパフォーマンスを発揮してこそ、

◎ お客様の喜びと感動につながる最高のサービスができる。

Copyright(c) SCSK Corporation

施策推進の軌跡　～働き方改革＜3つの柱＞～

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

2011　2012　2013　2014　2015　2016　2017　2018

健康経営
全ての社員の健康増進

禁煙推進施策
（所定時間内の喫煙禁止等）

運動推進施策
（ウォーキングキャンペーン）

「健康」が全ての礎

健康わくわくマイレージ
～総合健康増進施策～

3本柱 ②

働き方の改革
長時間労働からの脱却と
ワークスタイル変革

残業
半減
運動

スマートワーク・チャレンジ
月間平均残業時間20時間未満
年次有給休暇取得20日

3本柱 ①

裁量労働制適用拡大
20時間残業代固定支給

心身ともに健康的な
職場環境の実現

どこでもWORK
～ワークスタイル変革～

3本柱 ③

Copyright(c) SCSK Corporation

2013年
4月開始

スマートワーク・チャレンジ20

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

【目的】働きやすい職場作りに向けた
意識改革と改善活動の定着化

2008年当時	月間平均残業時間35時間	年次有給休暇取得日数13日
	大幅削減	100%取得
目標	月間平均残業時間20時間	年次有給休暇取得日数20日

Copyright(c) SCSK Corporation

スマートワーク・チャレンジの成果

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

年度	平均残業時間/月	年次有給休暇日数
2008年度	35.3	13
⋮	⋮	⋮
2011年度	27.8	13
2012年度	26.1	15.3
2013年度	22.0	18.7
2014年度	18.2	19.2
2015年度	18.0	18.7
2016年度	17.8	18.7
2017年度	16.4	18.8

年次有給休暇取得率
97.8%

月間平均残業時間
20時間以下

Copyright(c) SCSK Corporation

『残業半減運動』（2012年）

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

エントリー部署（32部署）の取り組み施策 Best5

No.	施　策	詳　細	実施部署数
1	業務の見直し 負荷分散	多忙なプロジェクトへの人員投入（他部署からの異動や応援等） 組織統合による業務の集約 / 合理化 業務をアウトソース　等	22
2	リフレッシュデー （ノー残業デー）の推進	毎週水曜日以外の追加実施（例：週2、週3、毎日、月末に追加） 定時退社促進のために部長による声かけ・オフィス巡回　等	20
3	日次（朝礼・終礼）/ 週次での確認	業務の明確化（優先順位 / 無駄の見極め） ・プロジェクト単位の朝礼、終礼で当日の業務を確認 ・朝メール、夜メールで1日の業務確認 ・週次で残業状況を確認し、部内会議で対策検討　等	19
4	フレックス・裁量労働の 活用	繁閑にあわせた時間外削減 ・シフト勤務者のフレックス適用　　等	18
5	会議の効率化	時間帯・開催時間等の効率化 ・会議時間帯のルール設定（17:00以降の会議禁止） ・上限時間の設定（最長90分まで、定刻5分前終了）等	17
次点	直行/直帰の励行	顧客訪問、定例会等を朝一か、夕方に設定し、移動時間を削減 （主に営業部署、一部の開発部署で実施）	10

※集計条件：残業半減運動の結果報告において、効果が高かったと回答した施策の件数（複数回答あり）

Copyright(c) SCSK Corporation

スマートワーク・チャレンジ20の主な施策

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

浮いた残業代を社員に全額還元

- 有休・残業目標達成した組織単位に特別ボーナスを支給
- 20時間分の残業代を固定支給

会社の本気度
組織の取組促進

有給休暇が取りやすい環境

- 全社一斉年休取得日・取得奨励日の設定
- バックアップ休暇（５日）の設定

社員の気持ちへ
働きかけ

長時間労働の是正

- 管理職を含む全社員が実勤務時間を記録
- 月間80時間超の残業は社長承認

全社員の取り組み
トラブルの早期把握

業務品質の向上

- 開発プロセス標準の徹底やPMO強化
- マネジメント強化（関与度合、組織規模適正化）

手戻り防止
マネジメント意識・行動

Copyright(c) SCSK Corporation

お客様への ご理解・ご協力のお願い

計画的有給休暇取得に関するお願い

平成 29 年●月●日

株式会社●●●●● 御中
（●●●●●●●部　●● ●●様）

ＳＣＳＫ株式会社
代表取締役社長　谷原 徹

弊社社員の計画的有給休暇取得に関するお願い

拝啓

貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社では経営理念として「夢ある未来を、共に創る」（お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、夢ある未来を拓きます）を掲げ、お客様と共に成長し続ける企業を目指しております。今後も、より一層貴社のお力になれるよう精進してまいりますので、引き続き、お引き立てくださいますようお願い申し上げます。

なお、弊社ではこの経営理念を実現するため、2013 年度より「スマートワーク・チャレンジ」と題した「残業時間の継続的低減」や「有給休暇の取得奨励」に繋がる各種施策に積極的に取り組んでおります。その目的は、単に弊社社員の健康管理や健康増進だけでなく、弊社の社員が休暇を利用したリフレッシュや自己研鑽を行うことで、これまで以上に生産性の高い創造性豊かな仕事を行い、貴社の利益に資することにあります。その一環として、有給休暇の取得率 100%を会社目標とし、有給休暇の計画的付与を実施しております。

2017 年度の計画付与日は、「2017 年 5 月 1 日（月）」、「2017 年 9 月 25 日（月）」、「2017 年 11 月 24 日（金）」、「2017 年 12 月 25 日（月）」の 4 日間となりますが、当該日に弊社社員が休暇取得できるよう、ご配慮頂けますと幸甚に存じます。誠に勝手なご相談ではございますが、弊社施策へのご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴社の今後益々のご発展と社員の皆様のご多幸をお祈り致します。

敬具

過重労働抑制の取り組みについて

平成 29 年●月●日

株式会社●●●●● 御中
（●●●●●●●部　●● ●●様）

ＳＣＳＫ株式会社
代表取締役 社長執行役員　谷原 徹

弊社の過重労働抑制の取り組みについて

拝啓

貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社では経営理念として「夢ある未来を、共に創る」（お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、夢ある未来を拓きます）を掲げ、お客様と共に成長し続ける企業を目指しております。今後も、より一層貴社のお力になれるよう精進してまいりますので、引き続き、お引き立てくださいますようお願い申し上げます。

さて、弊社ではこの経営理念を実現するため、2013 年度より「スマートワーク・チャレンジ」と題した「残業時間の継続的低減」や「有給休暇の取得奨励」に繋がる各種施策に積極的に取り組んでおります。その目的は、単に弊社社員の健康管理や健康増進だけでなく、弊社の社員が余暇を利用してリフレッシュや自己研鑽を行うことで、これまで以上に生産性の高い創造性豊かな仕事を行い、貴社の利益に資することにあります。

また、「スマートワーク・チャレンジ」では、全社的な残業時間の低減に加え、特に社員の過重労働の抑制に重点をおいた取り組みを進めています。これは、弊社社員の健康障害を防ぎ、ひいてはお客様に安定的かつ継続的に品質の高いサービスをご提供することを目指すものです。

特に業務負荷が高い社員に対しては、その業務状況を適切に把握した上で、業務を組織的にサポートする体制を強化することで過重労働の発生を防ぐとともに、業務品質の維持向上に努めてまいりますので、ご配慮を頂けますと幸甚に存じます。何卒、弊社の過重労働抑制に向けた取り組みにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴社の今後益々のご発展と社員の皆様のご多幸をお祈り致します。

敬具

Copyright(c) SCSK Corporation

働き方改革の裏で直面していた課題

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

大型案件のトラブル発生

↓

トラブル対応により
長時間残業者が増加

↓

業績悪化と共に、
働き方改革もペースダウン

Copyright(c) SCSK Corporation

問題案件対策

問題案件をうみだす温床

- 見積もり精度の悪さ
- 属人的な品質管理
- 長時間残業の常態化
- 顧客との曖昧な業務分担
- 発注前の見切り作業着手
- 多段階下請け構造に起因するモラル低下

など、、、、

- 満足度の高いシステム、サービスをお客様に提供するには、
- 当社、グループ会社、パートナー各社、全ての社員が働き甲斐を持つには

これら悪しき因習を断ち切る必要がある！！

仕事のやり方・しくみを変える

社員の意識を変える

Copyright(c) SCSK Corporation

問題案件対策

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

問題案件対策として、業務クオリティの向上に着手

1. 標準プロセスを定着化させることによって、プロジェクト遂行上のクオリティ向上を図る

2. マネジメント・レイヤーの各層において、リスクマネジメント強化を図りクオリティ向上を図る

Copyright(c) SCSK Corporation

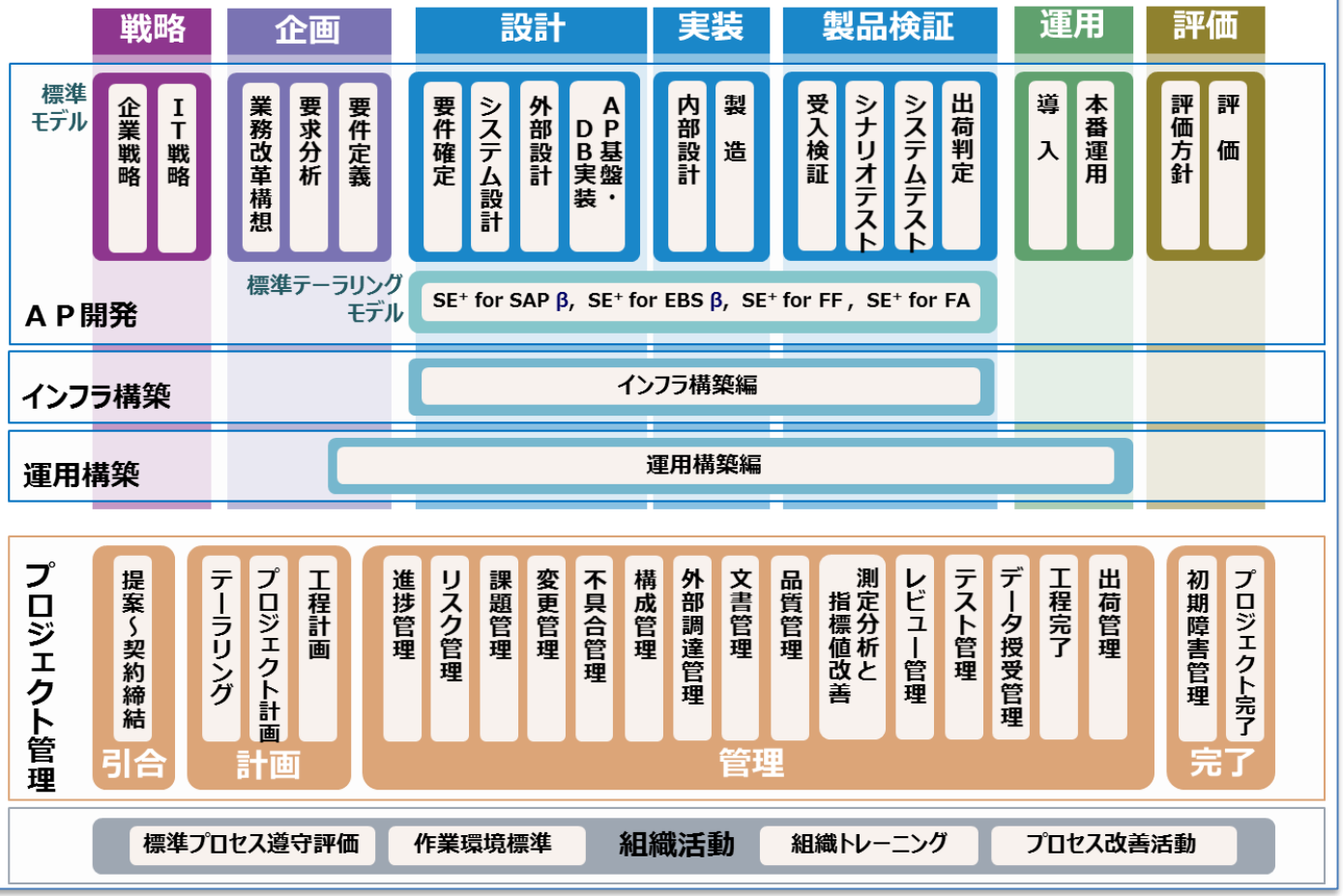
問題案件対策

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

1. 標準プロセスを定着化させることによって、プロジェクト遂行上のクオリティ向上を図る

① SE+（開発標準）定着化　SmartEpisodePlus(SE+)

- CMMIがベース
- 管理プロセス、開発プロセス、組織活動で構成
- 開発プロセス領域は更に以下で構成
  - アプリケーション開発
  - インフラ構築
  - 運用構築
- アプリケーション開発はパッケージ向け等のテーラリングモデルも用意



Copyright(c) SCSK Corporation

問題案件対策

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

1. 標準プロセスを定着化させることによって、プロジェクト遂行上のクオリティ向上を図る

② 案件状況可視化とプロジェクト・ファシリテーション強化

プロジェクト管理システム SE+((Navi)) 全社運用開始 2016/10～

◆ ダッシュボード関連機能

PJ概況レポート	期間逸失超過利益差異組織別グラフ	提案一覧	本番稼働予定PJ
PJ推移レポート	期間逸失超過利益差異PJ一覧	PJ状況照会	本番稼働状況

◆ プロジェクト利用機能

中日程計画	リスク管理	レビュー管理	引合チェック申請
要員計画	課題管理	不具合管理	計画チェック申請
採算計画	変更管理	各種品質レポート	進行チェック申請

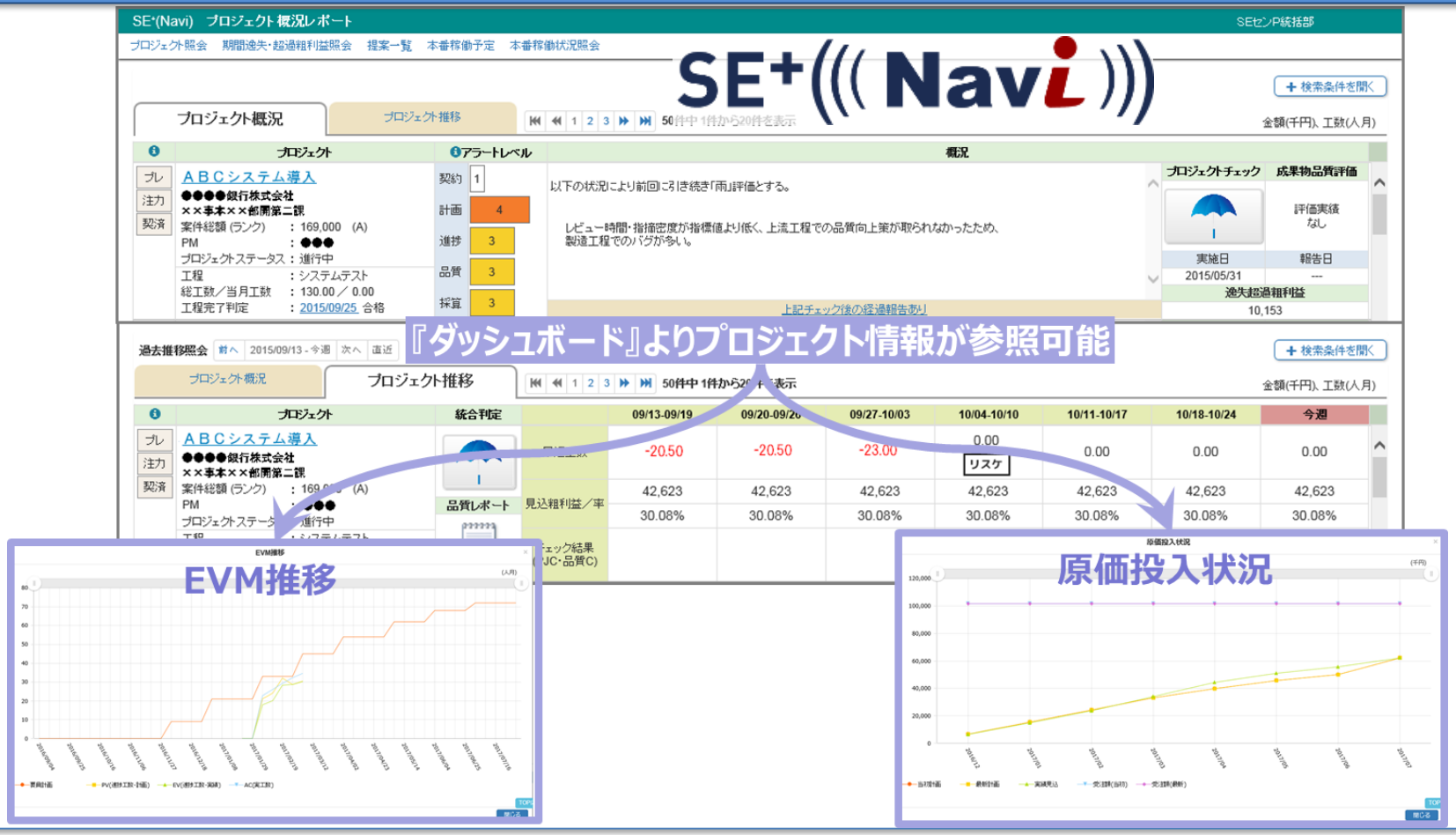
Copyright(c) SCSK Corporation

問題案件対策

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

1. 標準プロセスを定着化させることによって、プロジェクト遂行上のクオリティ向上を図る

② 案件状況可視化とプロジェクト・ファシリテーション強化



Copyright(c) SCSK Corporation

問題案件対策

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

2. マネジメント・レイヤーの各層において、リスクマネジメント強化を図りクオリティ向上を図る

③ シニアマネジメントによる問題案件振り返り　（2015年度より）

④ 部門長指さし確認開始　（2016年度より）

⑤ 体制リスクレビューを開始！！　（2015年度より）

⑥ 『要件定義　品質評価＆リスク共有』を開始！（2017年度より）

⑦ トラブル事例を漫画にして全社共有
→リスクマネジメント力強化

Copyright(c) SCSK Corporation

業務クオリティ向上施策、リソース戦略のまとめ

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

◆ 問題案件をうみだす温床を全社一丸となって排除

- 見積もり精度の悪さ
- 属人的な品質管理
- 長時間残業の常態化
- 顧客との曖昧な業務分担
- 発注前の見切り作業着手
- 多段階下請け構造に起因するモラル低下

など、、、、

仕事のやり方・しくみを変える

全社的なプロセス標準化
と可視化の促進

SE+ Smart Episode Plus　SE+ Navi

＋

社員の意識を変える

経営層も巻き込んだ
全社的なリスクマネジメント
の強化

Copyright(c) SCSK Corporation

「働きやすい、やりがいのある会社」を目指して

Copyright(c) SCSK Corporation

SCSK

夢ある未来を、共に創る。